

令和2年度 施策評価シート

基本目標		地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる
政策	210	多様な都市機能が調和したまちをつくる
施策	211	職・住・学・遊が調和したまちづくりを計画的に進める
施策の目標	多様な都市機能が調和したまちとなるため、職・住・学・遊の調和する総合的・計画的な土地利用が進み、地域の特性に応じたまちづくりのルールが確立することで、誰もが快適に活動をしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「地域の特色を生かしたまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-				50.0%					53.0%
実績	47.2%									
指標名	地区整備計画区域面積									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-				97.0ha					99.0ha
実績	85.9ha									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
<p>「地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合について、目標を達成するためには、文花地域を中心に、大学・地域・区が緊密に連携し、魅力的な大学のあるまちづくりを進めていく必要がある。連携を行ううえでは、区民が気軽に大学の活動に参加できる仕組みづくり、環境づくりが極めて重要である。</p> <p>また、大学の知を活用した最先端の研究や社会実験等を通じて、多様な人材や投資を惹きつける、魅力あるエリアとなるよう整備を進めていく必要がある。</p>	H29	437,851
	H30	15,026
	R1	926,325

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	情報経営イノベーション専門職大学や千葉大学等の知見を活かした連携を通じて、「大学のあるまち」として特色のあるまちづくりを進められ、成果が期待できる。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
情報経営イノベーション専門職大学の開学及び千葉大学デザイン・建築スクールの開設に伴い、大学の知見を最大限活用して地域課題の解決を図る必要がある、緊密に連携すると共に、必要な資源の投入も不可欠である。	
【今後の具体的な方針】	
千葉大学・情報経営イノベーション専門職大学・区による三者協定の締結・公民学連携プラットフォームの構築	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	大学誘致推進事業	926,325	11,359	937,684	5	改善・見直し
					46	令和元年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

令和2年度 事務事業評価シート

施策	211	職・住・学・遊が調和したまちづくりを計画的に進める			部内優先順位
事業名	大学誘致推進事業				1
目的	旧西吾孺小学校及び旧曳舟中学校跡地(以下「学校跡地」)及び旧すみだ中小企業センターに大学を誘致することにより、若者の流れを呼び込み、地域経済の活性化や地域の賑わいを創出する。さらに、まちとキャンパスが溶け込み、職・住・学・遊が調和したまちづくりを進める。				主管課・係(担当)
					行政経営担当
					03-5608-6230
対象者	全区民				
根拠法令 関連計画	なし				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	2名
事業内容	<p>1 千葉大学関係事務(令和3年4月「デザイン・建築スクール」開設予定)</p> <p>(1)旧すみだ中小企業センター大規模改修工事 (工事調整・予算管理等)</p> <p>(2)土地・建物賃貸借契約に係る各種事務 (大学との協議)</p> <p>2 大学のあるまちづくりの推進</p> <p>(1)情報経営イノベーション専門職大学・千葉大学に関する広報活動</p> <p>(2)大学との連携事業の調整</p> <p>(3)啓発イベントの開催</p> <p>(4)アーバンデザインセンターすみだ設立に関する準備事務</p> <p>3 大学整備用地全体の調整</p> <p>(1)あずま百樹園整備に関する調整</p> <p>(2)キャンパスコモン整備</p> <p>4 将来施設用地の誘致推進</p> <p>(1)将来施設用地の活用に向けた交渉・調整等</p> <p>(2)文花子育てひろば整備に関する調整</p>				
経過	開始年度	平成20年度～	終了予定	未定	
	<p>平成20年:第4回定例会(企画総務委員会)において、「4年制の総合大学」を誘致することを正式に表明</p> <p>平成23年:学校跡地に対する大学誘致の公募を実施 「該当校なし」との結果</p> <p>平成24年～:関東近郊の大学に対し、進出意向のアンケートを実施</p> <p>平成29年3月:国立大学法人千葉大学と「包括的連携に関する協定」を締結。令和3年(2021年)4月に、旧すみだ中小企業センターの建物に「デザイン・建築スクール」を開設(予定)</p> <p>平成29年12月:学校法人電子学園と「包括的連携に関する協定」を締結</p> <p>平成30年～:「旧すみだ中小企業センター改修基本・実施・解体設計」の実施</p> <p>令和2年4月:学校跡地北側に「iU情報経営イノベーション専門職大学」が開学</p>				
議会質問の状況	<p>平成29年3月(企画総務委員会)</p> <p>(しもむら委員):これまで学校跡地に大学を誘致するとしていたので、地元からは「建物を解体した後は、跡地は千葉大学が使用するのでは間違いはないか」との声も挙がっている。</p> <p>(渡辺参事):千葉大学が将来的な展望や跡地の活用方法についてどのように考えているのかを基本に据えたい。仮に千葉大学がそこまでの規模を要しないとのことであるならば、他大学も含めて協議していく。</p> <p>平成31年3月(企画総務委員会)</p> <p>(沖山委員):今後、どのように大学との連携、つながりを進めていくのか。</p> <p>(山本区長):大学に絡んだ地域の事業者も視野に入れて、両大学にも地域との仕事について、いろいろな形で対応してもらえるように依頼をしていく。</p> <p>令和2年3月(企画総務委員会)</p> <p>(福田委員):iUには芝生広場があるが、ここは地域に開放してくれるのか。新しい隅田公園のようにファミリーでも集えるような気軽に入れる場なのか。</p> <p>(郡司参事):令和2年4月以降は地域に開放していくと聞いている。周辺には塀がなく、誰でも自由に入れるのがコンセプトであり、公園のように気軽に使えるようになるが、学校施設ではあるため、今後ルール作りが必要になる。エリア全体として憩いの場として活用できるエリアにしたい。</p>				
その他特記事項	<p>(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)</p> <p>他区の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方大学振興法(23区の大学の定員増を10年間抑制等)の成立(H30.6月公布) ・専門職大学については、R6.3月までは経過措置として23区内に設置可能 <p>年間スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学・・・R3.4月「デザイン・建築スクール」開設予定 <p>関連部署</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営繕課(設計・施工に係る執行委任) 				

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		7,967	117,278	439,989	54,129	976,668	2,385,000
決算額(令和2年度は見込み)		6,784	109,036	437,851	15,026	926,325	2,380,230
財源	国						
	都						
	その他						513,000
一般財源		6,784	109,036	437,851	15,026	926,325	1,867,230
執行率(%)		85.2%	93.0%	99.5%	27.8%	94.8%	99.8%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	旧すみだ中小企業センター公共料金	1,916	需用費	旧すみだ中小企業センター公共料金等	1,609	需用費	旧すみだ中小企業センター公共料金等	4,730
委託料(施設管理委託料)	旧すみだ中小企業センター維持管理	1,600	委託料(建設委託料)	旧すみだ中小企業センター工事関連	122,008	委託料	施設周辺の環境整備等	150,882
委託料(調査・研究委託料)	地歴調査等	497	委託料(施設管理委託料)	旧すみだ中小企業センター維持管理	521	工事請負費	旧すみだ中小企業センター改修工事関連等	2,173,936
委託料(その他)	経済波及効果分析等	7,580	委託料(その他)	大学との事業連携関連等	898	使用料及び賃借料	備品の借上げ	21,428
使用料及び賃借料	旧すみだ中小企業センター維持管理	2,381						

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	大学誘致用地における大学等の設置施設数				単 位	棟
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
			R7	目標	1	2	3	3
				実績	0	0	0	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
			目標	3	3	3	3	3
		実績	1					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	国立大学法人千葉大学と情報経営イノベーション専門職大学のほか、現在、将来活用用地(旧西吾嬬小学校跡地)に更なる施設の誘致を想定しているため、活動指標とした。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	区・地域と大学の連携活動数				単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
20		R7	目標	-	1	3	5	
			実績	0	6	7	46	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	15	20	25	30	35	
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
地域経済の活性化や地域の賑わいを創出するためには両大学が区内で活発な連携活動が行われていることが不可欠であるため、大学による区内での連携活動数を成果指標とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	令和3年4月に千葉大学デザイン建築スクールが開設することに伴い、情報経営イノベーション専門職大学との連携はもとより、区や地域を巻き込んだ公民学の連携をより一層充実させ、区民が大学誘致の効果を実感できるような仕組みづくりが必要である。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・将来施設用地の誘致に関する区議会・地域住民への説明 ・千葉大学「デザイン・建築スクール」の開設に向けた各種調整 ・アーバンデザインセンターすみだの設立に向けた準備 ・大学のあるまちづくり事業に関する啓発